

製品名: CCND3 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80966**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000
分子量	32kDa

抗原情報

遺伝子名	CCND3
別名	CCND3
遺伝子 ID	896.0
SwissProt ID	P30281
免疫原	大腸菌で発現したヒト CCND3 の精製された組み換え断片。

背景

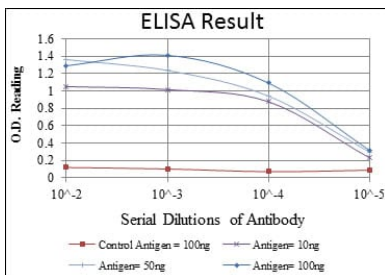
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、高度に保存されたサイクリンファミリーに属し、そのメンバーは細胞周期を通してタンパク質存在量の劇的な周期性によって特徴付けられる。サイクリンは CDK キナーゼの調節因子として機能する。異なるサイクリ

ンはそれぞれ異なる発現および分解パターンを示し、各有糸分裂イベントの時間的調整に寄与する。このサイクリンは CDK4 または CDK6 と複合体を形成し、その活性が細胞周期の G1/S 遷移に必要とされる調節サブユニットとして機能する。このタンパク質は、腫瘍抑制タンパク質 Rb と相互作用し、そのリン酸化に関与することが示されている。このサイクリンに関連する CDK4 活性は、紫外線照射後の G2 期から有糸分裂への細胞周期の進行に必要であると報告された。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードするいくつかの転写バリエーションが見つかっている。

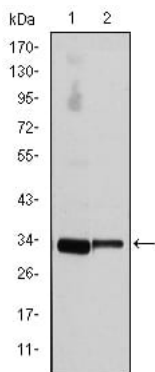
研究分野

PI3K-Akt シグナル伝達経路

画像データ



赤: コントロール抗原 (100 ng); 紫: 抗原 (10 ng); 緑: 抗原 (50 ng); 青: 抗原 (100 ng);



NIH/3T3 (1) および Jurkat (2) 細胞溶解物に対する CCND3 マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。